

わが街で暮らす

諏訪市地域医療・介護連携推進センター

ライフドアすわの取り組み

地域包括ケアシステムを支える人々

105



私共、湖南地区社会福祉協議会は各種福祉事業を年間計画に基づき展開しています。区民の皆さんに健康増進や老後の生き方などに関する情報提供、啓発を行うことを目的として、高齢者向けの福祉講座を年一回開催しています。ここ数年は、医療関連の講座をライフドアすわに依頼して開催しています。昨年は『自分らしい生き方、逝き方』を実施し、今年は口腔ケア「食べるをささえる」を実施しました。

いう基本理念を掲げて活動しているとの話を伺いました。

地域の皆さんを対象に医療・介護・福祉について安心して暮らすための情報を地域に広める活動を行っているライフドアすわは私たちの福祉活動を推進する上で、強力なパートナーとなっています。ライフドアすわとの接点は、福祉活動の会議や諏訪市社会福祉協議会を通じて紹介してもらったことがきっかけです。ライフドアすわの矢崎さんからは、「誰もが、いつでも困った時に、その扉を叩いていただけるように。そしてその扉を開ければ、自分の生命をつないでいくことができるように」と

超高齢化社会の今、私達の地域で地域医療福祉の観点から高齢者の健康寿命向上のために、各種の専門的な情報を提供いただけるのは非常に貴重なことです。しかも地域の施設に向いていただき、講話をしていただけるのを大変有難く思っております。今後も出前講座の中から住民の皆様に関心のありそうな講座を調べ、来年度も来ていただけるようにしていきたいと思っています。私達も講座で学んだ事を参考にしながら、日々の生活の中で取り入れて充実した長寿社会を歩んで行きたいと

はしもと こういち 湖南地区社会福祉協議会 会長 橋本 光市

湖南地区社協と ライフドアすわとの連携

思っております。現在、湖南地区社協では、福祉講座の他に、湖南地区にある10のサロンで、定期的に交流会を開催し、その中で様々な役に立つ内容について勉強し合っています。

加えて、フレイル予防の一環として湖南商業会及びなかよし広場と共同開催で「みんなで歌って元気よく」を年3回開催しています。みんなが最新の曲から懐かしい歌謡曲まで大いに歌うことが、心身ともに健康を維持し、いつまでも若さを保つのに効果があるため、みなで楽しく歌声を響かせています。

さらには、今年も多世代交流を進める中で9月12日（土）に「カレーを食べてベタンクを楽しむ会」を開催し、小学生と育成会及び民生児童委員・社協の人達とカレーを食べてベタンクを楽しむ、交流を深めました。また、今後の予定としては、11月に懇親茶話会を開催し、湖南小学校の合唱班や金管班に出演してもらい小学生と高齢者の交流を図ってまいりたいと思っております。

これから私達は、ライフドアすわとともに地域に根差した様々な活動を活発に進めてまいりたいと思っております。よろしく願っています。

次回は11月8日掲載予定



福祉講座の様子